

領域	道徳	学年	中2	資料名	「人物探訪」私たちの道徳 p70
ねらい	友情は、互いの個性を認め、相手への尊敬と幸せを願う思いが大切であることから、異性であっても、相手のものの見方や考え方を理解し、共に成長しようとする姿勢が求められることに気付き、各自の異性に対する姿勢を見直そうとする態度を育てる。				
主題名	異性を理解し、尊重して〈内容項目：B―(8) 友情、信頼〉				
過程	時間	基本発問と予想する生徒の反応		指導上の留意点	
導入	5	<p>1 価値への導入をする。</p> <p>○男女の協力からイメージするのは、どのようなことかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚、夫婦。 ・苦手なことを女子が助けてくれたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の価値について、方向付けをする。 	
展開前段	37	<p>2 p70「人物探訪」を読み、新島襄や八重について話し合う。</p> <p>○新島八重の人柄や功績について、どう感じたかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の女性が決してやらなかったことをしている。(男装、射撃、砲術、戦) ・芯の強い女性。 <p>○襄が「亭主が東を向けと命令すれば、三年間でも東を向いているようなご婦人はごめんです。」といったのは、どのような思いからかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い日本の因習を打破したい。 ・先進諸国のように日本も変わらなければ。 <p>◎襄は、八重のどんな行いを美しいと思っているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・襄は八重のことを考え方や行動を美しいと思っていたから。 ・八重は、性差の差別をしない襄の考え方をすばらしいと思っていたから。 		<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の新島襄、妻の八重について、「すごいな」と思う部分に線を引ながら範読を聞くようにする。 ・自己の感じ方や考え方との異同を基に、初発の思いを大切にし、追求していく話題を設定する。 ・当時の時代背景をおさえる。 ・襄の「彼女は決して美人ではありません。しかし私が彼女について知っているのは、美しい行いをする人」だということです。私にはそれで充分です。」の言葉に着目させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【性に関する指導の視点】 人として互いに認め合ったことに着目させ、性別に関係なく、相手のものの見方や考え方を理解する理解し認め合う関係を築くことの大切さを指導する。</p> </div>	
展開後段	5	<p>3 自分の生活を見つめ、交流する。</p> <p>○これまでの生活を振り返って、異性について理解、尊重し、協力できたことはあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は、〇〇さんが、力のいる作業をしてくまくいかなかった時に、気付いて手伝うことができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分の経験との比較をもとにした振り返りを行い、自己を見つめられるようにする。 ・個に応じて日常の生活を具体的な場面で想起できるよう助言する。 ・仲間と意見を交流する中で、自己の見方や考え方をみつめることができるようにする。 	
終末	3	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・男女がお互いに理解し、協力し合いたいと思うことができる話をする。 	
<p><配慮事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が認識する性別があることを事前に学習し、自分の性別に合わせて考えていけるようにする。 					